

請求の範囲

- [請求項1] 少なくとも一部が伸縮性の袋体と、前記袋体中の充填材とを少なくとも備えた人用の枕であって、
- 前記充填材が、発泡ビーズを含み、
- 前記枕の最長方向が重力方向に対して平行になるように前記枕を床に立て、前記床と前記枕との接触面積が変動しないように前記枕の頂部を上部に伸ばした場合、前記充填材の存在しない空間が、前記枕の最大長さの $1/10 \sim 2/3$ の長さで前記枕の上部に形成され、
- 最長方向が平行となるように前記床に置いた前記枕に少なくともお尻が付くように人が寝た場合、前記お尻が枕の底につく枕。
- [請求項2] 少なくとも一部が伸縮性の袋体と、前記袋体中の充填材とを少なくとも備えた人用の枕であって、
- 前記充填材が、発泡ビーズを含み、
- 前記枕の最長方向が重力方向に対して平行になるように前記枕を床に立て、前記床と前記枕との接触面積が変動しないように前記枕の頂部を上部に伸ばした場合、前記充填材の存在しない空間が、前記枕の最大長さの $1/10 \sim 2/3$ の長さで前記枕の上部に形成され、
- 最長方向が平行となるように前記床に置いた前記枕に少なくともお尻が付くように人が寝た場合、前記お尻が枕の底につき、
- 前記枕上で前記人が寝返りを打った際、前記お尻の下部に存在する前記発泡ビーズが転動体の役割を果たすことで、寝返りを容易に行い得る請求項1に記載の枕。
- [請求項3] 前記床に置いた枕が、前記お尻の左右で前記発泡ビーズの移動により盛り上がり、
- 前記人が寝返りを打った際、前記袋体の伸縮性と前記発泡ビーズの転動体としての役割により、左右の盛り上がりが維持され、かつ寝返りを打つ前と打った後の前記お尻の平面位置がほぼ同一である請求項1又は2に記載の枕。

- [請求項4] 前記枕上に布を介して、仰向け又はうつ伏せで人が乗った後、他者が前記布を引っ張ると、前記布の下部に存在する前記発泡ビーズが転動体の役割を果たすことで、少ない力で体位の変換が容易であり、かつ引っ張る前と引っ張った後の前記お尻の平面位置がほぼ同一である請求項1～3のいずれか1つに記載の枕。
- [請求項5] 前記枕に少なくともお尻が付くように人が寝た状態で、前記お尻が前記枕の底につき、上半身及び太ももが底につかないように、前記充填材が移動することによる凹みを備える請求項1～4のいずれか1つに記載の枕。
- [請求項6] 前記枕の最大長さが、20cm～3mである請求項1～5のいずれか1つに記載の枕。
- [請求項7] 最長方向を床面と平行になるように床面に前記枕を置き、前記枕上に人が仰向けに乗った場合、頭からお尻までを載せ得る大きさを備える請求項1～6のいずれか1つに記載の枕。
- [請求項8] 前記袋体が、10～500%の伸縮性を有する請求項1～7のいずれか1つに記載の枕。
- [請求項9] 前記人が、大人である、請求項1～8のいずれか1つに記載の枕。
- [請求項10] 少なくとも一部が伸縮性の袋体と、前記袋体中の充填材とを少なくとも備えた枕であって、
前記枕の最長方向が重力方向に対して平行になるように前記枕を床に立て、前記床と前記枕との接触面積が変動しないように前記枕の頂部を上部に伸ばした場合、前記充填材の存在しない空間が、前記枕の最大長さの $1/10 \sim 2/3$ の長さで前記枕の上部に形成され、
前記枕に直径20cmの円盤を当て、前記円盤へ重力方向に沿って1～20kgの力を加えた場合、前記円盤が前記枕の底につく請求項1～9のいずれか1つに記載の枕。